

平成26年度の輸送実績（速報）

平成27年4月

1. 輸送概況

平成26年度は、10月の台風18号の上陸に伴う東海道線の不通のほか、台風8・11・19号（7月中旬、8月中旬、10月中旬）の接近・上陸に伴う輸送障害や12月に爆弾低気圧による輸送障害が発生した他、6月の江差線における貨物列車の脱線事故、7月の中央西線不通の影響等により、高速貨2,034本、専貨170本が運休した。（平成25年度は、高速貨1,730本、専貨57本が運休）

荷動きについては、上期は前年と比べ自然災害による影響も少なく、前年を上回って推移したものの、下期に入り、台風18号に伴う東海道線の不通、また景気回復の停滞感による生産減、前年3月は消費税増税前の増送があったこともあり、年度全体では前年を下回った。

コンテナは、農産品・青果物については北海道産の玉葱を中心とした野菜類、また、民間流通米および政府米（飼料米）が増送となった。食料工業品においては新潟地区の菓子類が好調な発送を継続、紙・パルプ、積合せ貨物、化学薬品については前年を上回った。一方で、自動車部品の現地調達化、また、家電・情報機器（白物家電）、化学工業品（洗剤等）が消費税増税後の反動による買い控えにより減送となった。結果、コンテナ全体では前年比100.1%となった。

車扱では、北海道地区の石油輸送終了、暖冬による石油関係の需要減により、全体で前年比92.4%となった。

コンテナ・車扱の合計では前年比97.8%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

扱別	種別	平成26年度		前年比
		本年実績	前年実績	
コンテナ		21,542	21,519	100.1%
車扱		8,770	9,490	92.4%
合計		30,312	31,009	97.8%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱別	品目	本年度実績	前年度実績	増減	前年度比
コンテナ	農産品・青果物	2,082	1,857	225	112.1%
	化学工業品	2,032	2,057	-25	98.8%
	化学薬品	1,485	1,480	5	100.3%
	食料工業品	3,388	3,286	102	103.1%
	紙・パルプ	3,328	3,273	55	101.7%
	他工業品	1,512	1,620	-108	93.3%
	積合せ貨物	2,341	2,295	46	102.0%
	自動車部品	729	900	-171	81.0%
	家電・情報機器	458	483	-25	95.0%
	エコ関連物資	397	466	-69	85.3%
	その他	3,789	3,804	-15	99.6%
	コンテナ計		21,542	21,519	23
車扱	石油	5,805	6,387	-582	90.9%
	セメント・石灰石	1,423	1,449	-26	98.2%
	車両	868	925	-57	93.9%
	その他	673	729	-56	92.3%
	車扱計		8,770	9,490	-720
合計		30,312	31,009	-697	97.8%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年度は速報値、前年度は確報値）